

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月22日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月22日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【固体廃棄物貯蔵庫9棟における熱感知器の誤作動について】 固体廃棄物貯蔵庫9棟の火報発報。現場を確認した結果、煙・火災無しを確認。 現場調査の結果、給気ルーバ室の熱感知器の故障による誤作動と推定。</p>	G III
2	<p>【総合文書管理システムのサーバ障害発生について】 総合文書管理システムにサーバ障害が発生していることを確認。 調査の結果、バックアップ処理が異常終了していることを確認。 システムを再起動し、設備図書台帳管理システム動作が正常であることを確認。 今後、原因調査し対応を検討。</p>	G III
3	<p>【側溝放射線モニタ局舎内エアコンの動作不良について】 側溝放射線モニタの定例巡視点検時にモニタ室のエアコンの動作不良を確認。 エアコンを交換予定。</p>	G III
4	<p>【2号機タービン建屋内炉注水ポンプ出口ライン流量計の故障について】 2号機タービン建屋内炉注水ポンプ出口ライン流量計の点検時に、計器として要求されている誤差を超えていることを確認。 調査の結果、計器単体の故障と判断。 当該計器を交換予定。 なお、原子炉への注水については他の計器で監視が可能。</p>	G III